

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 5 部門第 2 区分
【発行日】平成 19 年 3 月 29 日 (2007.3.29)

【公開番号】特開 2001-241447 (P2001-241447A)
【公開日】平成 13 年 9 月 7 日 (2001.9.7)
【出願番号】特願 2000-55409 (P2000-55409)
【国際特許分類】

F 1 6 C 33/38 (2006.01)

【F I】

F 1 6 C 33/38

【手続補正書】

【提出日】平成 19 年 2 月 8 日 (2007.2.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 1 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 1 6】

上述の様に構成する保持器 8 a の各ポケット 1 0 a、1 0 a 内に、玉軸受を構成する内輪軌道と外輪軌道との間に配置した複数個の玉 6 を 1 個ずつ保持した状態では、上記各押圧部 1 4 が上記各玉 6 を、上記主部 9 の軸方向に関して 1 対の弾性片 1 1、1 1 の先端側（図 3 の上側）に弾性的に押圧する。そして、この様に各押圧部 1 4、1 4 が各玉 6 を押圧する事に基づき、上記保持器 8 a が、これら各押圧部 1 4、1 4 がこれら各玉 6 を押圧する方向と反対方向（図 3 の下側）に変位する。この結果、上記保持器 8 a を構成する総てのポケット 1 0 a、1 0 a 内に保持した各玉 6 が、これら各ポケット 1 0 a、1 0 a 内の上記 1 対の弾性片 1 1、1 1 の先端寄り部分に配置される。特に、本例の場合には、この状態で上記各玉 6 の転動面が、上記各ポケット 1 0 a、1 0 a の内面のうち上記各弾性片 1 1、1 1 の内側部分（図 3 の Q_1 、 Q_2 部分）に押し付けられる様に、各部の形状及び寸法を規制している。この結果、図 3 に示す様に、上記各玉 6 が上記押圧部 1 4 の外面と上記 Q_1 、 Q_2 部分とで支持された状態となり、上記各玉 6 が上記各ポケット 1 0 a、1 0 a 内で円周方向に変位し得る隙間がなくなる。

【手続補正 2】

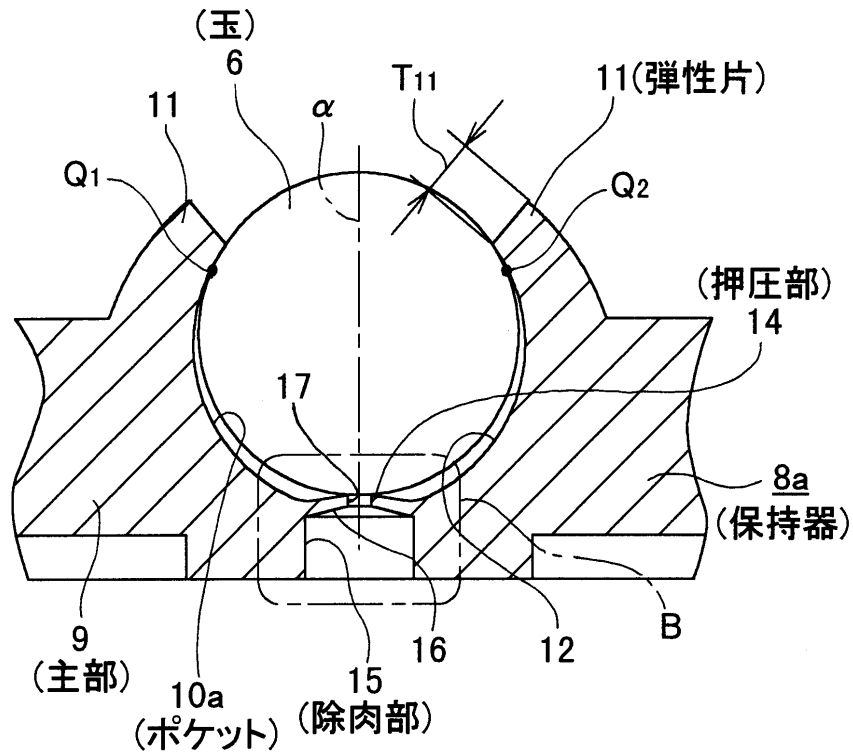
【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 3】



【手続補正 3】

【補正対象書類名】図面

【補正対象項目名】図 2 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【図 2 6】

